

【別添9】 POPs 等農薬等による中毒症状及び応急措置一覧

1. 中毒症状

物質名	中毒症状
アルドリン	初期に頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、全身倦怠感 大量摂取では、筋繊維性攣縮、てんかん様発作、散瞳、興奮、呼吸困難、肝腎障害、貧血、脳波異常などが見られることもある。
ディルドリン	頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、発汗、振せん（ふるえ）、不眠、筋けいれん、意識消失、呼吸麻痺、肝腎障害、脳波異常など
エンドリン	頭痛、吐き気、嘔吐、いらいら、てんかん様けいれん、意識消失、発汗、流涎などの自律神経症状、心筋障害、肝腎障害、脳波異常、食欲不振、神経過敏など
クロルデン	吐き気、嘔吐、下痢、食欲不振、振せん（ふるえ）、けいれんなど。 慢性中毒では、中枢神経系刺激、肝腎障害、肺水腫、消化管刺激症状がある。
ヘプタクロル	1～3gの投与で特に肝障害のあるものでは重篤な徴候が起ることがある。急性症状は振せん、けいれん、腎臓障害、呼吸器の衰弱。
DDT	頭痛、めまい、食欲不振、吐き気、嘔吐、全身倦怠感、下痢、発汗、流涎、呼吸困難、平衡失調、てんかん様けいれん、再生不良性貧血、肝腎障害など
BHC	頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、ふるえ、協同運動失調、けいれん、呼吸困難、神経過敏、肝腎障害、造血障害、性機能障害、皮膚炎など。
水銀	急性症状
酢酸フェニル水銀	目に入った場合：発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷 皮膚に触れた場合：発赤、皮膚熱傷、痛み、水疱。 吸入した場合：咳、頭痛、息苦しさ、息切れ、咽頭痛、灼熱感。 飲みこんだ場合：腹痛、灼熱感、下痢、吐き気、ショックまたは虚脱、嘔吐
有機リン	急性中毒：気道の狭窄感、呼吸困難、食欲不振、吐き気、嘔吐、頻脈、 初期は血圧上昇・後期は血圧降下、瞳孔縮小、痙攣、昏睡 慢性中毒：免疫低下、ホルモン異常、眼障害、自律神経障害

出典：『農薬毒性の事典』他

2. 応急措置

物質名	【応急措置】
アルドリン	<p>目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流す(まぶたを親指と人差し指で広げ、眼をあらゆる方向に動かす)。</p> <p>皮膚に触れた場合：直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着部または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。これによって体内に吸収されることがなくなる。</p> <p>吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>飲みこんだ場合：口をすすぐ。</p>
ディルドリン	<p>目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流す(まぶたを親指と人差し指で広げ、眼をあらゆる方向に動かす)。</p> <p>皮膚に触れた場合：直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着部または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。呼吸が困難な場合または呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>飲みこんだ場合：口をすすぐ。</p>
エンドリン	<p>目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流す(まぶたを親指と人差し指で広げ、眼をあらゆる方向に動かす)。</p> <p>皮膚に触れた場合：直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着部または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。これによって体内に吸収されることがなくなる。</p> <p>吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>飲みこんだ場合：胃の内容物を吐かせる。また腎臓や腸からの排出を早めるために、多量の水を、ことに茶を飲ませ、また、下剤として硫酸マグネシアを温湯に溶かして与えると良い。</p>
クロルデン	<p>目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流す(まぶたを親指と人差し指で広げ、眼をあらゆる方向に動かす)。</p> <p>皮膚に触れた場合：直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着部または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。呼吸が困難な場合または呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>飲みこんだ場合：口をすすぐ。</p>
ヘプタクロル	<p>目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流す(まぶたを親指と人差し指で広げ、眼をあらゆる方向に動かす)。</p> <p>皮膚に触れた場合：直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着部または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。呼吸が困難な場合または呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>飲みこんだ場合：口をすすぐ。</p>

物質名	【応急措置】
DDT	目に入った場合：数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズをはずして)、医師に連れて行く。 皮膚に触れた場合：汚染された衣服を脱がせる。洗い流してから水と石鹸で皮膚を洗淨する。 吸入した場合：新鮮な空気、安静。必要な場合には人工呼吸。医療機関に連絡する。 飲みこんだ場合：口をすすぐ。水に活性炭を懸濁した液を飲ませる。吐かせる(意識がある場合)。安静。医療機関に連絡する。
BHC	目に入った場合：数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズをはずして)、医師に連れて行く。 皮膚に触れた場合：汚染された衣服を脱がせる。洗い流してから水と石鹸で皮膚を洗淨する。医療機関に連絡する。 吸入した場合：新鮮な空気、安静。医療機関に連絡する。 飲みこんだ場合：口をすすぐ。吐かせる(意識がある場合)。安静。医療機関に連絡する。
水銀	目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流す(まぶたを親指と人差し指で広げ、眼をあらゆる方向に動かす)。 皮膚に触れた場合：直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着部または接触部を石けん水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。 吸入した場合：鼻をかませ、うがいをさせる。新鮮な空気の所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩める。呼吸停止の際、呼気吹き込みか器具による人工呼吸、酸素吸入。 飲みこんだ場合：多量の水、牛乳、卵白などを飲ませ、吐かせる。
有機リン	胃洗淨、腸洗淨、(胃洗淨後、活性炭1g/kg-体重と下剤を投与)、呼吸管理、痙攣対策 解毒剤であるPAM、硫酸アストロピン等の摂取

出典：『化学物質安全性データブック』他

なお、中毒については日本中毒情報センターに医師から問い合わせてもらおうとよい。

大阪中毒110番(365日 24時間対応)

一般市民専用電話 072-727-2499 (情報料：無料)

医療機関専用有料電話 072-726-9923 (情報料：1件2,000円)

<大阪大学高度救命救急センターの支援>

つくば中毒110番(365日 9:00~21:00対応)

一般市民専用電話 029-852-9999 (情報料：無料)

医療機関専用有料電話 029-851-9999 (情報料：1件2,000円)

<筑波メディカルセンター病院の支援>

